

「ハンセン病療養所 世界遺産にむけて」

疾病差別と隔離政策の過ち



日時：2017年6月16日(金) 13:00～16:30

入場無料

会場：岡山市民文化ホール（岡山市中区小橋町）

国のハンセン病療養所が3つある岡山・香川。日本で最初の国立療養所として長島愛生園が作られたのが昭和5年。それから90年になろうとしています。全国から長島に、そして大島に強制隔離された人たちは、長きにわたって、いわれのない差別・偏見にさらされてきました。国の誤った政策は、日本人の心のどこに潜んでいたのでしょうか。同じような悲劇を繰り返さないためにも、語り継ぐべきことがあります。

回復者の生きた証をと、世界遺産登録を目指している瀬戸内3園。シンポジウムでは、強制隔離政策を主導した国や差別・偏見を助長した社会、メディアの責任を検証。歴史を保存する上で欠かせない「世界の中の日本」という視点も交えます。また、療養所で生まれた文芸作品の朗読やRSKが35年にわたって記録してきた映像を通して、私たち一人一人に何ができるのかを考えます。

第1部

- 基調講演 「メディアは、確かに伝えたのか」 山陽放送 代表取締役社長 **原 憲一**
- 特別講演 「世界のハンセン病の現状」 日本財団 会長 **笹川陽平**
WHO ハンセン病制圧大使
- 朗読 「隔絶の中の叫び～回復者の文学作品から」 俳優 **竹下景子**



笹川 陽平

第2部

パネルディスカッション「今語り継ぐべきもの」

- パネリスト
- | | | | |
|----------------|--------------|--------|--------------|
| 長島愛生園 入所者自治会会長 | 中尾 伸治 | 俳優 | 竹下 景子 |
| 邑久光明園 入所者自治会会長 | 屋 猛司 | 山陽新聞記者 | 阿部 光希 |
| 大島青松園 入所者自治会会長 | 森 和男 | 山陽放送記者 | 山下 晴海 |
- コーディネーター 山陽放送 **米澤 秀敏**



竹下 景子

内容は変更になることがあります。